

私たち平川ミニバスは、中国大会優勝を目指して、練習を頑張ってきました。1日目は、試合がなかったのでリラックスして開会式に参加できました。2日目は、楽しみにしていた試合を迎えて、初めて出る中国大会に少し緊張感を感じていました。

最初の試合は、アップが肝心なので、寒い中汗ばむくらい真剣にアップをしました。鳥取県の若葉台とは、59対18で圧勝しました。2試合目は広島県1位出場の口田東と対戦しました。口田東には170cmの長身の選手がいましたが、今まで負けたことがなかったので負けるわけにはいかないというプライドを持って頑張りました。34対23で勝ち、2日目の準決勝に進むことができました。

準決勝は、広島県2位出場の五日市小と戦いました。この日は平川ミニバス卒業の中学生が応援にきてくれて嬉しかったし、頑張らないといけないと思いました。試合は、第4Qまで1点1ゴールを争う試合で、最後までどちらが勝つか分からないゲームでした。第4Q残り15秒で平川がフリースローをもらい同点としましたが、相手にプレスを破られ、ゴールを許してしまいました。しかし、まだ諦めずに残り5秒で私が最後シュートを打ちましたが入らず、負けてしまいました。悔しくて涙が出ました。後からこの試合を振り返ってみると、敗因はシュートミスだったと思います。決めることのできるシュートを何本も落としてしまい、流れに乗りきることができませんでした。接戦の試合では確実にシュートを決めていかないと勝敗に響くということを、この試合で学びました。負けはしましたが、最後まで諦めず一生懸命頑張った姿を、保護者や応援にきてくださった方々に見せることができて良かったと思います。

3位決定戦で、光大和に勝ち、中国大会3位という成績を収めることができました。私は、初めての中国大会で結果を出せてとても嬉しかったです。

この試合で一生懸命ベンチで応援してくれた仲間やジュニアのチームメイト、中学生や保護者、また大会を運営してくださった方々に感謝したいと思います。

中学生になってもこの経験をいかして、一生懸命バスケットボールを頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

2011年12月23日～12月25日

キリシババレーン岡南総合スポーツセンター

